



ハタオリマチで75年 新しい“和”の追求で目指す新境地

光織物 有限会社

- ☑ 代表取締役会長…加々美好 (富士吉田織物協同組合 理事長) ☑ 業 種…織物製造業
- ☑ 代表取締役社長…加々美 琢也 ☑ 所在地…富士吉田市下吉田九丁目35-7
- ☑ 創 業…昭和25年創業、昭和33年法人化



富士吉田は1000年以上の歴史を誇る織物産地です。戦後間もない昭和25年、いわゆる「ガチャマン時代」(織機が「ガチャッ」と音を立てるたびに1万円儲けると言われた時代)に光織物有限会社は創業しました。平成2年には創業者から現会長の加々美好氏へ、令和2年には現社長の加々美 琢也氏へと事業を継承し、“和”をテーマにした織物をつくり続けています。

現在はOEM生産を中心に、雛人形や舞台衣装、和雑貨に使われる金襴緞子を主力に製造するほか、掛け軸表装に用いられる貴船緞子なども手掛けています。生産を支えるのは、富士山麓と工業地帯に構える2つの工場と計16台の織機です。かつては外注が主体でしたが、納期



短縮や安定供給のために内製化を進め、現在はほとんどの製品を自社生産。近年は金襴緞子を使用する和雑貨の需要が伸び、昨年は織機を2台増設するなど、生産体制の強化を進めています。

また、2009年からは東京造形大学の学生と機屋が共同で製品

を開発する「フジヤマテキスタイルプロジェクト」に参加し、オリジナルブランド「kichijitsu」と「IIYU TEXTILE」を立ち上げました。「kichijitsu」は「毎日が吉日」をテーマに、“GOSHUINノート”や“おまもりぽっけ”など縁起物をモチーフとした商品を展開し、「IIYU TEXTILE」は銭湯のタイル模様をモチーフにした“オケバック”や“IIYUサコッシュ”など、入浴シーンをテーマにしたユニークな商品を展開していて、学生の自由な発想と産地の技術が融合した新たな挑戦として注目を集めています。

今後はOEMと並行して、自社ブランドを活かしたBtoCビジネス(消費者への直接販売)にも力を注いでいきたいです。展示会やオンライン販売の活用を強化し、一般のお客様にも直接商品を届け、富士吉田織物の魅力を広く発信していくことを目指しています。



kichijitsu
詳細はこちら

お知らせ

今年で10周年を迎える「ハタオリマチフェスティバル2025」は、10月18日(土)～19日(日)に開催されます。ぜひ足をお運びください。